# 愛媛県感染症情報

平成20年2月22日(H20.No4) 愛媛県基幹感染症情報センター 愛媛県保健福祉部健康衛生局健康衛進課 愛媛県立衛生環境研究所 http://www.pref.ehime.jp/

### 子ども予防接種週間のお知らせ

平成20年3月1日~7日の1週間は『子ども予防接種週間』です。4月からの入園・入学に備えて、必要な予防接種をすませ、病気を未然に防ぎましょう。特に4月に小学校に入学されるお子さんで、平成19年4月以降、麻しん・風しんの予防接種をまだ受けていない方は、ぜひこの機会に受けましょう。

詳しくは、お住まいの市町役場予防接種担当課またはかかりつけ医までお問合せください。

#### 発生動向の概況

インフルエンザは減少しました。定点からの患者報告数は、第6週は1,227人(定点当たり20.1人)第7週は812人(定点当たり13.3人)で、第5週(定点当たり26.0人)のピーク時の約半数になりました。全国でも同様に、第5週をピークに減少傾向です。愛媛県内の現在の主流行ウイルス型はAソ連型ですが、医療機関からの情報では、迅速検査の結果、B型が出ています。通常、A型が流行した後にB型の小流行が見られます。今後の動向に注意し、帰宅時のうがいや手洗いなどの感染予防を励行してください。また呼吸器症状のある方は咳エチケットを守り、感染拡大を防ぎましょう。

感染性胃腸炎はほぼ横ばいで推移しています。例年これから春先にかけて、乳幼児の嘔吐下痢症の原因であるロタウイルスによる胃腸炎が増加してきます。手洗いを心がけてください。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は中予で増加傾向です。水痘(みずぼうそう)は八幡浜地区の多発は収まりましたが、今治地区で増加しました。

#### 県内での感染症発生状況

全数把握感染症(結核は除く)

五類感染症 : 麻しん 3例

(性別:全て女性、年齢区分:10歳未満1例、20歳代1例、30歳代1例)

定点把握感染症(数字は最新週の定点当たり報告数、発生地区は保健所名を記載)

	愛媛県推移	県 内 の 傾 向
インフルエンザ	13.3	減少した。例年に比べ5 9歳の年齢区分割合が高い。
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	<b>→</b> 1.7	例年と同程度の発生が続く。中予では増加傾向。
感 染 性 胃 腸 炎	<b>→</b> 11.5	ほぼ横ばいで推移している。
水痘	<b>→</b> 2.3	八幡浜地区の多発が収まったが、今治地区で多発。

#### 解析評価委員のコメントから

インフルエンザ: やや減少しています。ほとんどA型です。(東予)

やや減少しています。B型の割合がごくわずかですが増えています。(中予)

県下全域でピークを過ぎ、減少傾向に入っています。(南予)

A 群溶レン菌咽頭炎 : みられます。たまに小学生や中学生の大きな子にもみられています。(東予)

やや増加しています。(中予)

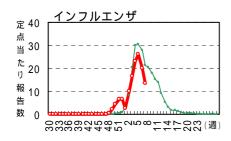
感 染 性 胃 腸 炎 : すこし増えています。家族中で感染しているケースもあり、ノロウイルスが疑われます。また

乳幼児で症状が強い例もあり、ロタウイルスが少し出てきたのでしょうか。(中予)

県下全体では落ち着いてきつつあるようですが、南予はまだまだ発生しています。 この 1 週間

で当科には感染性胃腸炎が8名入院しました。(南予)

過去30週の動向 ( --- : 過去30週の動向、 -- : 過去10年の平均)







### 病原体検出情報

インフルエンザ患者数は徐々に減少傾向にあり、定点からの気道感染症患者の検体数も少し減ってきました。インフルエンザ、上・下気道炎等から第5週に3株、6週に3株のインフルエンザ様ウイルスを分離同定中です。例年に無く多かったRSウイルスの検出も減少してきつつあります。5週

#### 週別インフルエンザウイルス分離状況(集団発生事例は除く)

	型別	i	<u> </u>	48	49	50	51	52	1	2	3	4	5	6	7	計
	至加	期	間	11/26-	12/3-	12/10-	12/17-	12/24-	12/31-	1/7-	1/14-	1/21-	1/28-	2/4-	2/11-	ĒΙ
		西	条	1		2		1	1	2	1	1				9
		今	治									5				5
,	Aソ連型	松⊔	市山				2	1		5	1	1				10
		松	Щ		1			1								2
		恒	†	1	1	2	2	3	1	7	2	7				26
	1	i†		1	1	2	2	3	1	7	2	7				26

(松山市)の手足口病検体から、単純ヘルペス1型が検出されていますが、エンテロ様ウイルスも分離されており、現在同定中です。

感染性胃腸炎はピーク時に比べ減少しましたが、まだノロウイルスが流行しています。5週(西条)に1例、6週(西条)に2例の検体から、ノロウイルスが検出されています。2月7日以降の検体は検査中です。

過去5週 検出病原体(インフルエンザウイルス以外)

(1月14日以降採取検体)

週	期間	発生地区	臨床診断名	検出病原体	検 体	例数
		西条	感染性胃腸炎	ノロ	<b>糞</b> 便 糞 便	2
			感染性胃腸炎	ノロ	糞 便	1
3	1/14 ~ 1/20	松山市	恐未住自吻炎	サポ	糞 便	1
3	1/14 ~ 1/20	ТА Щ П	不明熱	RS	咽頭ぬぐい液	1
			1、10月末代	アデノ2	咽頭ぬぐい液	2
		宇和島	感染性胃腸炎	ノロ	糞 便	3
		今 治	感染性胃腸炎	ノロ	糞 便	1
			溶レン菌咽頭炎	A群溶レン菌	咽頭ぬぐい液	1
			感染性胃腸炎	ノロ	糞 便	1
4	1/21 ~ 1/27	松山市	<b>芯木</b> は自防火	サポ	糞 便	1
			下気道炎	RS	咽頭ぬぐい液	1
			上気道炎	RS	咽頭ぬぐい液	1
		宇和島	感染性胃腸炎	ノロ	糞 便	1
		西条	感染性胃腸炎	ノロ	糞 便	1
5	1/28 ~ 2/3	今 治	腸重積症	アデノ2	糞 便	1
3	1/20~2/3	松山市	RSウイルス感染症	RS	咽頭ぬぐい液	1
		化山巾	手足口病	単純ヘルペス 1	咽頭ぬぐい液	1
6	2/4~2/10	西条	感染性胃腸炎	70	糞 便	2

#### 月別病原体検出結果

	検体採取月		20	07		20	80	合計
検出	出病原体	9	10	11	12	1	2	
	コクサッキーA3		1					1
	コクサッキーA6	1		1				2
	コクサッキーA16		5	2				7
	コクサッキーB2	1	1					2
	コクサッキーB4		1					1
	コクサッキーB5			1				1
	ポリオ 2	1						1
ウイ	エンテロ 71	1						1
ル	インフルAソ連			1	8	17		26
ス	RS		4	10	25	8		47
	アストロ			1				1
	ノロ				25	18	2	45
	サポ			4	5	2		11
	アデノ1					1		1
	アデノ2			3	1	3		7
	アデノ6	1						1
	単純ヘルペス 1		1				1	2
ŗ	ウイルス 計	5	13	23	64	49	3	157
細	A群溶レン菌	1	1	3	2	2		9
菌	C群溶レン菌			1				1
	百日咳菌	5	2	4				11
4	細菌 計	6	3	8	2	2		21

### 臨床診断名別検出結果(2007年12月以降採取検体)

	1	R	溶	感	手	下	上	腸	不	合
	ン	S ウ	レ	染						
	フ	1	ン	性	足	気	気	重		
	ル	ル	菌						明	
	I	ス 感	咽	胃		道	道	積		
	ン	恐染	頭	腸						
検出病原体	ザ	症	炎	炎	病	炎	炎	症	熱	計
インフルAソ連	24					1				25
RS		1				14	13		5	33
ノロ				45						45
サポ				7						7
アデノ1						1				1
アデノ2							1	1	2	4
単純ヘルペス 1					1					1
ウイルス 計	24	1		52	1	16	14	1	7	116
A群溶レン菌			4							4
細菌 計			4							4

# 愛媛県 定点把握五類感染症 2008年 第 7 週 (2008.2.11~2.17)

		1)					小儿	見科定!	<u></u>					眼科	定点		基幹	定点		•	
#	者報告数	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	高咽頭炎 A群溶血性レンサ球	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギー ナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎		
/	四国中央	54			2	36	5	1		2										四国中央	
保		64			11	58	6	7	1	8										西 条	
	<b>А</b> Ъ	149	2		7	39	26	9	-	5					7					今 治	
健	松山市	259	2	3	31	149	25	9	1	12		1	3		3	-	-	-	-	松山市	$\dashv$
所	松山	93	_	1	7	36	7	· ·	-	4		·	3		ŭ					松山	
別		115	1		2	56	14			7										八幡浜	
	宇和島	78	4		3	52	3			2										宇和島	
	愛媛県	812	9	4	63	426	86	26	2	40		1	6		10					愛 媛 県	
週	1週前	1227	10	2	60	395	89	17	4	36			6		12			2		1週前	
推移	2週前	1583	18	6	64	431	56	31	3	32			4		15	1		1		2週前	
	3週前	1393	25	2	59	430	97	7	7	28	1		9		11					3週前	
年齢別	6 7 8 9 10-14 15-19	2 12 39 44 50 55 84 67 60 57 39 129 31 34 52 31 16 9	6 2 1	2 1 1	3 8 9 10 13 8 3 1 8	2 29 51 58 44 31 46 30 24 22 12 43 10 24	3 7 14 13 14 11 7 2	1 7 3 5 7 2	1	20 19 1		1	1		1 1 2 2 1 1					30-34 35-39 40-44 45-49 50-54 55-59	年齡別(基幹定点疾患)
定	点当たり報 四国中央	告数 10.8			.7	12.0	1.7	.3		.7				-	_					四国中央	$\neg$
保		6.4			1.8	9.7	1.0	1.2	.2	1.3										西 条	
健	今 治	18.6	.4		1.4	7.8	5.2	1.8		1.0					7.0					今 治	
	松山市	15.2			2.8	13.5	2.3	.8	.1	1.1	-	.1	.3		1.0	-	-	-	-	松山市	
所	松 山	13.3		.3	1.8	9.0	1.8			1.0			.8							松 山	

<sup>13.3</sup> 1) 高病原性鳥インフルエンザを除く

16.4

11.1

.3

1.0

.2

.7

3.5

8.

2.3

.2

.0

.1

.5

8.

1.7

14.0

13.0

11.5

### (参考) 保健所別定点数

八幡浜

宇和島

愛 媛 県

別

	<u> </u>	N N	-1111	,,,,,	////////	`											
	Ē				点				数	愛媛県	四国中央	西 条	今 治	松山市	松山	八幡浜	宇和島
F	1	ン	フ	ル	I	ン	ザ	定	竔	61	5	10	8	17	7	7	7
1	J١		児		科		定		点	37	3	6	5	11	4	4	4
E	限			科		定	2		沪	8	-	1	1	3	1	1	1
1	基			幹		淀	?		沪	6	1	1	1	-	1	1	1

.1

1.8

.5

1.1

八幡浜

宇和島

愛 媛 県

<sup>2)</sup> 髄膜炎菌性髄膜炎は除(...

<sup>1.3</sup> 3) オウム病を除(.

<sup>4)</sup> 小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20-29"に計上.

<sup>5)</sup> 眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70-79"に計上.

注)表中の報告数は2月20日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。

#### 愛媛県 定点把握五類感染症 2008年 第 6 週 (2008.2.4~2.10)

		1)					小儿	見科定.	#					眼科	定点		基幹	定点		İ	
#	含報告数	インフルエンザ	RSウイルス感染症	<b>咽頭結膜熱</b>	高咽頭炎 A群溶血性レンサ球	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギー ナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎		
	四国中央	134			1	29	8			3			2							四国中央	
保		145	2		6	66	4	6	4	6					1					西 条	
	<b>А</b> Д	225	4		15	33	10	6		5					5			2		今 治	
健	松山市	379	3	2	19	118	34	4		12			1		5	-	-	-	-	松山市	
所	松山	108		_	14	53	6	1		3										松 山	
別		163	1		1	77	25			4			3		1					八幡浜	-
	宇和島	73			4	19	2			3										宇和島	
	愛媛県	1227	10	2	60	395	89	17	4	36			6		12			2		愛 媛 県	
週 推 移	1週前	1583	18	6	64	431	56	31	3	32			4		15	1		1		1週前	
移	2週前	1393	25	2	59	430	97	7	7	28	1		9		11					2週前	
	3週前	997	21	4	50	474	78	14	7	33	1		7		9					3週前	
年齢別	6 7 8 9 10-14 15-19	7 15 61 59 74 105 119 101 73 95 203 36 45 58 29 14 10 2	6 2 1 1	1	3 3 4 7 13 2 9 2 17	1 22 52 29 27 34 45 30 25 22 18 53 3	3 17 21 15 17 5 6 2 3	1 3 7 1 2 2 1	3 1	23 12 1			3 1 2		1 1 2 2 1 1 2 2			1		30-34 35-39 40-44 45-49 50-54 55-59	年齢別 (基幹定点疾患)
定保	三点当たり報 四国中央 西 条	告数 26.8 14.5			.3 1.0	9.7 11.0	2.7 .7	1.0	.7	1.0 1.0			.7	-	- 1.0					四国中央 西 条	_
健	今 治	28.1	.8		3.0	6.6	2.0	1.2		1.0					5.0			2.0		今 治	
	松山市	22.3	.3	.2	1.7	10.7	3.1	.4		1.1			.1		1.7	-	-	-	-	松山市	
所	松 山	15.4			3.5	13.3	1.5	.3		.8										松 山	

<sup>20.1</sup> 1) 高病原性鳥インフルエンザを除く

23.3

10.4

.3

.3

.5

6.3

.5

2.4

1.0

.8

.2

.1

.3

1.0

1.6

19.3

4.8

10.7

#### (参考) 保健所別定点数

八幡浜

宇和島

愛 媛 県

別

定				点				数	愛媛県	四国中央	西 条	今 治	松山市	松山	八幡浜	宇和島
1	ン	フ	ル	I	ン	ザ	定	竔	61	5	10	8	17	7	7	7
小		児		科		定		沪	37	3	6	5	11	4	4	4
眼			科		定	2		沪	8	-	1	1	3	1	1	1
基			幹		定	2		点	6	1	1	1	-	1	1	1

1.0

8.

1.0

.3

八幡浜

宇和島

愛媛県

<sup>2)</sup> 髄膜炎菌性髄膜炎は除(...

<sup>1.5</sup> 3) オウム病を除(.

<sup>4)</sup> 小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20-29"に計上.

<sup>5)</sup> 眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70-79"に計上.

注)表中の報告数は2月13日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。

## 愛媛県 全数把握感染症 第6、7週 (2008.2.4~2.17)

		類型	二類		三類	頂感染	验症									四类	類感夠	杂症															五類	感染症	Ē					$\neg$
		疾病名	(2) 結核	(1) コレラ	(2) 細菌性赤痢	(3)腸管出血性大腸菌感染症	(4) 腸チフス	(5)パラチフス	炎	(3) A型肝炎	(4)エキノコックス症	(6) オウム病	(10) Q 熱	(12)コクシジオイデス症	(18)つつが虫病	(19) デング熱	(23) 日本紅斑熱	(24) 日本脳炎	(28)ブルセラ症	(30) 発疹チフス	(32) ボツリヌス症	(33) マラリア	(35) ライム病	(39) レジオネラ症	(40)レプトスピラ症	(1)アメー バ赤痢	(E型及びA型肝炎を除く)	(3) 急性脳炎	(4)クリプトスポリジウム症	5)クロイツフェルト・ヤコブ病	(症)劇症型溶血性レンサ球菌感染	(7)	(8)ジアルジア症	(9) 髄膜炎菌性髄膜炎	(10先天性風しん症候群	(11) 梅毒	(1) 球菌感染症	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)		(14-3) 麻 し ん
	3	愛 媛 県	9																																					3
第		四国中央	2																																					
6		西条	1																																					2
7	保健	今 治	1																																					
週報告数	保健所別	松山市	4																																					
告	別	松山																																						
釵		八幡浜	1																																					
		宇和島																																						1
调		7週	3	<del>                                     </del>																																				2
週 推 移	愛 媛	6週	6 10		1																																		1	1
杉	~~	- 5週 4週	2		ı																						1												- !	1
	Į.	愛媛県	28		1																						1					1							1	
2		四国中央	3																																					
0		西 条	3																																				1	2
0	保	今 治	3		1																																			
年	保健所別	松山市	11																													1								1
8 年 累 積	別	松山	1																																					
数		八幡浜	4																								1													
		宇和島	3																																					1

<sup>・</sup>表中の報告数は医療機関からの届出数を保健所ごとに集計したもので、患者の住所を示すものではありません。

<sup>・</sup>医療機関からの報告日をもとに集計。集計日以降の報告数は、次週以降の累積に反映されます。

<sup>・2008</sup>年1月からの省令改正に伴い、疾病を追加および並び順一部変更しました。

# 全国 定点把握感染症 第5、6週 (2008.1.28~2.10)

(定点当たり報告数)

								小	児科定	点					眼科	定点	( )		定点	<u>`</u>
			インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	菌咽頭炎 A群溶血性レンサ球	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギー ナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
	愛	愛媛県	26.0	.5	.2	1.8	11.5	1.5	.8	.1	.9			.1		1.9	.2		.2	
	近	香川県	19.6	.4	.3	.4	7.5	1.6	.3	.4	.4	.1	.1	.1						
	. —	徳 島 県	19.4	.3	.0	1.4	9.3	1.5	.3	.1	.4	.1		.1						
	県	高知県	35.0	.8	.5	.6	7.8	1.1	.2	.3	.3			1.0	.3	1.3				.1
5	₹	) 国	17.6	.5	.2	2.0	9.2	1.4	.2	.2	.6	.0	.0	.3	.0	.6	.0	.0	.4	.0
	1	上海 道	2.2	.9	.3	3.0	3.0	1.1	.0	.3	.4	.0	.0	.1		.7	.0		.1	
週	亰	1 北	20.6	.7	.3	2.4	8.7	1.5	.1	.3	.6		.0	.3		.3	.0		1.2	.0
	厚	東	13.6	.1	.1	2.5	10.3	1.1	.1	.1	.6	.0	.0	.3	.0	.9	.0	.0	.3	.0
	甲	信越北陸	19.3	.3	.3	2.7	11.1	1.9	.1	.3	.5	.0	.0	.3		.3	.0		.3	.1
	耳	<b>海</b>	30.5	.4	.1	1.6	8.1	1.2	.1	.1	.6	.0	.0	.4	.0	.2	.1		.3	.1
	Ų	丘 畿	13.2	.5	.2	1.2	7.4	1.2	.2	.1	.5	.0	.0	.2	.0	.4	.0	.0	.4	.0
	4	中国四国	17.6	1.0	.3	1.4	11.4	1.3	.3	.2	.5	.0	.0	.2	.0	.7	.0		.2	.0
	t	1州沖縄	24.0	.5	.4	2.0	9.8	2.1	.5	.2	.7	.0	.1	.3	.0	1.0	.0		.4	

(2008.2.6集計)

	愛媛児	T.	20.1	.3	.1	1.6	10.7	2.4	.5	.1	1.0			.2		1.5			.3	
	近 香 川	県	13.0	.4	.3	1.9	5.1	1.7	.5	.1	.5			.1						
	徳 島	県	11.2	.2	.2	1.4	7.3	2.5	.2	.1	.6			.1						
	県 高 知	県	26.6	1.0	.2	.6	6.8	1.4	.1	.2	.5			.8		1.3			.1	
6	全 [	Ē	15.0	.4	.2	2.1	9.2	1.8	.2	.1	.6	.0	.0	.2	.0	.6	.0	.0	.4	.0
	北海道	Ě	2.0	.9	.2	3.4	3.5	1.3	.0	.3	.3	.0	.0	.1	.1	.6			.1	
週	東は	比	17.8	.5	.2	2.4	8.6	1.6	.1	.3	.6	.0	.0	.3		.4	.0	.0	1.1	
	関	東	10.9	.1	.1	2.6	10.7	1.4	.1	.1	.6	.0	.0	.2	.0	.8	.0	.0	.4	
	甲信越北	陸	19.0	.2	.3	2.9	11.0	2.5	.2	.3	.5	.0	.0	.2		.5			.3	.0
	東海	每	21.1	.3	.2	1.6	8.0	1.6	.1	.1	.5	.0	.0	.3	.0	.3	.0	.0	.5	.2
	近 🌡	幾	10.4	.3	.2	1.3	7.0	1.6	.2	.1	.5	.0	.0	.2	.0	.4	.0	.0	.3	
	中国四国	玉	14.3	.8	.2	1.6	10.7	1.7	.4	.1	.6	.0	.0	.2	.0	.8	.0	.0	.2	
	九州沖約	縄	25.2	.4	.3	1.7	10.4	3.1	.5	.1	.7	.0	.1	.3	.1	.9	.0	.0	.5	

(2008.2.14集計)

<sup>1)</sup> 高病原性鳥インフルエンザを除く. 2) 髄膜炎菌性髄膜炎は除く.

<sup>3)</sup> オウム病は除(...

# 全国 全数把握感染症 第5、6週 (2008.1.28~2.10)

		類型	二類   三類感染症						四類感染症														五類感染症  1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10) (11) (12) (13) (14) (14-2) (14-3) ア (ウ 急 ク 病ク染劇 後 ジ 髄 先 梅 破 ドバ感バ 風 麻メ E イ 性 リ 口症症 天 ア 膜 天 毒 傷 ウン染ン し し 型 型ル 脳 プ イ 型 性 ル 炎 性 風 球コ症コ ん ん が びス 炎 ト ツ 溶 免 ジ 菌 風 菌マ マ 赤 A 性 ス、フ 血 疫 ア 性 し 感イ イ																	
疾病名		(2) 結核	(1) コレラ	(2) 細菌性赤痢	3腸管出血性大腸菌感染症	(4)腸チフス	(5) パラチフス	(1) E 型肝炎	(3) A 型肝炎	(4)エキノコックス症	(6)オウム病	(10) Q 熱	(12)コクシジオイデス症	(18) つつが虫病	(19)デング熱	(23)日本紅斑熱	(24) 日本脳炎	(28) ブルセラ症	(30) 発疹チフス	ボッリ	ラ	(35)ライム病	(39) レジオネラ症	(40)レプトスピラ症		(日型及びA型肝炎を除く)	(3) 急性脳炎	(4) クリプトスポリジウム症	(5) クロイツフェルト・ヤコブショ	(6)劇症型溶血性レンサ球菌感	⑺後天性免疫不全症候群	(8)ジアルジア症	9)髄膜炎菌性髄膜炎	(1)先天性風しん症候群	(11) 梅毒	(12) 破傷風	(13ドウ球菌感染症(13ドウ球菌感染症(13ドウ球菌感染症)が、カラマイシン耐性黄色ブラが、カラボラが、カラボラが、カラボラが、カラボラが、カラボラが、カラボラが、カラボラが、カラボラが、カラボラが、		(14-3) 麻 し ん	
		全 国	565		7	15	1	1		5					6	1						2		35		20	6	5		3	3	35	2			14		2	18	750
		愛 媛 県	12		1																																		1	1
第5.6週	四	香川県																																						
	国	徳島県	3																																					
		高 知 県	11																					1																
		北 海 道	17																					1												1				103
		東北	44							1														3								2				1			2	
報	プロ	関 東	207		2					4					2	1						1		13		11					1	16	1			5		2	7	383
週報告数	リッ	甲信越北陸	28			2																		3			1				1	1	1			2				15
釵	ク	東海	76			3		1														1		2		2		_		2		4				1				7
	別	近畿	62		1	4	1								1									6		4	1	2				8							7	39
		中国四国	64		2																			5		1		_											2	
		九州沖縄	67		2										3									2		2		3		1	1	4				4				131
调		6週	258		4		1			1					3							1		12		8				2	2	17	-			9				
週 推 移	全国	5週	307		3			1		4					3							1		23		12	_	5		1	1	18	2			5		2		436
	ഥ	4週	287		6		1		2	10					1									7		16		4		4	1	21		1		10		2	3	205
-		3週	240		7	9									5									8		10		3		4.0	2	8	1			7			7	180
2008年累積数	<u> </u>	全 国	2092	1	38	75	4	2	4	22	2				34	7	1					4		89		76		27		12	12	115	6	1		62	5	6		1556
		愛媛県	21 1		1	1			$\vdash$																		1					1							1	2
	四国	香川県	19			1																																		- 1
		徳 島 県高 知 県	18																					1			1													
		北海道	54			1			2	1	1													2		2		2				2				3				164
		東北	155		4	2				7	- 1													6		2				2		2				3			5	143
	ブ	関 東	779	1	- 1			1	1	9					11	4						3		25		38		8		2	5	65	5			17	2	4	14	829
	ロッ	甲信越北陸	110	1	13	5		'		J					- ' '	- <del>1</del>						J		11		50	2	U		1	1	2	1			5			5	36
		東海	254		4	9		1		2					2							1		5		11	3	3		4	- 1	15	- 1			10		1	2	20
	ク別	近畿	290		7	20				_					1	1						-		25		18	4	2		-	4	14		1		7		<u>'</u>	11	73
	ניני	中国四国	163		3	8				2						- 1								9		2		2		2	-	1		- 1		2			5	20
		九州沖縄	287		4	20			1	1	1				20	1	1							6		3	3	9		1	2	14				15	3	1	8	271
		. 3 / 11 / 1 / 10																			1																-			

<sup>・</sup>医療機関での診断日をもとに集計。集計日以降の報告数は、次週以降の累積に反映されます。

(2008.2.14集計)

<sup>・2008</sup>年1月からの省令改正に伴い、疾病を追加および並び順一部変更しました。